

# 愛知県がめざす 循環型林業

「伐る・使う→植える→育てる」



 愛知県

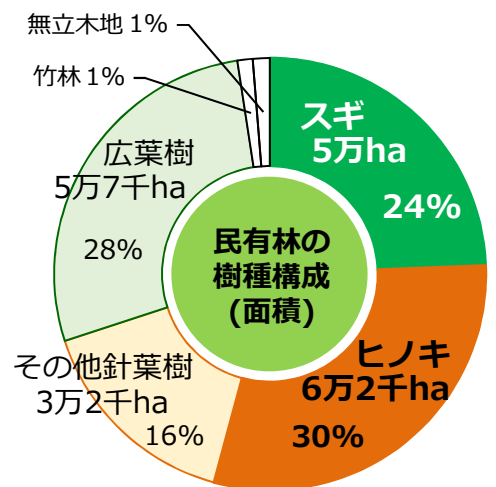
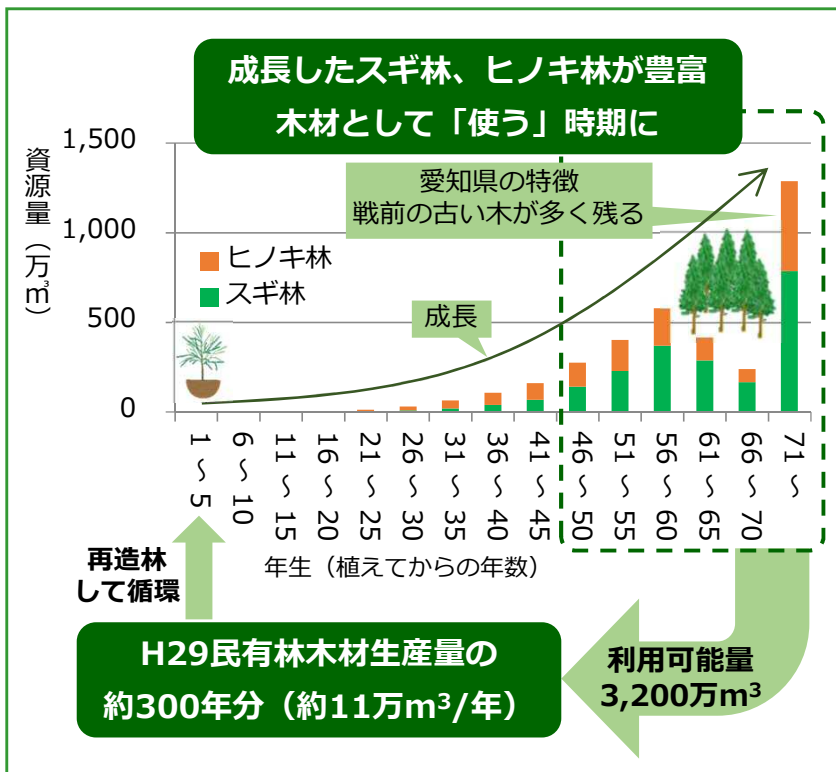
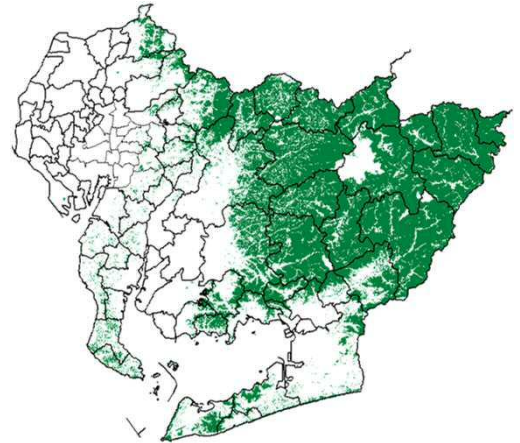




## 愛知県のスギ・ヒノキ人工林資源のほとんどが本格的な利用期を迎えました

愛知県の土地面積51万7千haのうち、民有林のスギ・ヒノキ人工林の面積は11万2千haで、22%にあたります。このうち約8万haが、戦後に木材増産を目的として植えられたものです。戦前から残る木と合わせると、約8割のスギ・ヒノキ人工林が木材として使える時期になっています。

愛知県の民有林分布



県内のスギ・ヒノキは、年々成長し、本格的に利用できる段階に入っています。木材として利用できる目安である46年生以上のスギ・ヒノキの資源量は約3,200万m<sup>3</sup>と豊富です。

この資源をきちんと循環利用していけば、外国からの木材の輸入に頼らず、私たちの生活に木造建築や木製品を増やしていくことができます。

**スギ林、ヒノキ林が54%  
広葉樹林は28%**

※本ページで使用した数値は平成29年度末現在のものです。





## 愛知県がめざす循環型林業とは

愛知県では、古くからの木材集積地である名古屋市を中心とした大消費地と、三河地方を中心とした森林資源を共に抱える本県の特徴を生かし、森林資源を持続的に活用していくため「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業の推進に取り組んでいます。

出荷を待つスギ コンテナ苗



「伐る・使う」ことで、豊富な森林資源を活用し、再び「植える、育てる」ことで森林資源の循環利用を確立させながら、多様な機能を持つ森林の維持保全を図ることが重要です。

### 愛知県の取り組み

主伐・植栽・獣害対策  
一貫施業の推進



新たな木材生産  
システムの導入



人材の育成  
(新型クレーン操作研修)



木材流通・加工体制の  
強化



路網の整備



支援・補助事業

循環型林業の実施にかかる費用に対する支援  
(例) ・主伐～造林一貫施業  
・苗木の植付け  
・獣害対策ネット



# 循環型林業の事例紹介

循環型林業では、主伐によりまとまった木材売上が得られますが、木材生産や運搬経費のほか、苗木の植栽費と、野生動物の食害から苗木を守るためのネットなどの対策費も必要となりますので、森林所有者は、木材の売上からそれらの費用を負担することになります。

現状では、主伐～植栽～獣害対策への補助制度により、森林所有者の負担が補われていますが、今後、木材の生産と流通の効率化等を進めてコストを下げることで、循環型林業の定着を目指します。



豊田市 地内  
平成28年8月～ 主伐  
同 11月 植栽

面積・樹種	2.17ha・スギ、ヒノキ80～90年生
事業体	豊田森林組合
木材生産量・売上	1,009m <sup>3</sup> ・17,500円/m <sup>3</sup>
木材生産・販売コスト	6,300円/m <sup>3</sup> （調査、伐採、造材、集積） 5,700円/m <sup>3</sup> （運搬、手数料等）
植栽・獣害対策コスト	165万円/ha
トータルコスト	723万円/ha
補助金	植栽：62万円/ha 主伐・獣害対策：178万円/ha
作業システム	チェーンソー→タワーヤーダ→プロセッサ
獣害対策	外周、中仕切ネット：734m 単木ガード：200本
植栽	スギ・ヒノキコンテナ苗：3,230本 スギ裸苗：170本 コナラ裸苗：400本



豊根村 地内  
平成29年7月～ 主伐  
同 11月 植栽

面積・樹種	1.74ha・スギ、ヒノキ60～90年生
事業体	豊根森林組合
木材生産量・売上	969m <sup>3</sup> ・15,400円/m <sup>3</sup>
木材生産・販売コスト	7,000円/m <sup>3</sup> （調査、伐採、造材、集積） 4,300円/m <sup>3</sup> （運搬・手数料等）
植栽・獣害対策コスト	233万円/ha
トータルコスト	862万円/ha
補助金	植栽：55万円/ha 主伐・獣害対策：178万円/ha
作業システム	チェーンソー→タワーヤーダ→プロセッサ
獣害対策	外周、中仕切ネット：759m
植栽	スギ・ヒノキコンテナ苗：4,350本



災害による森林の損害に備え、  
森林保険に是非、ご加入ください



平成31年4月 発行

愛知県（農林基盤局 林務部 林務課）

〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL. 052-954-6444 Fax. 052-954-6936